８ 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に使うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

消耗部品の交換や清掃を行う時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。電源プラグを差し込んだまま、作業を行うと感電する恐れがあります。

取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりでなく、感電や火傷をする危険性があります。

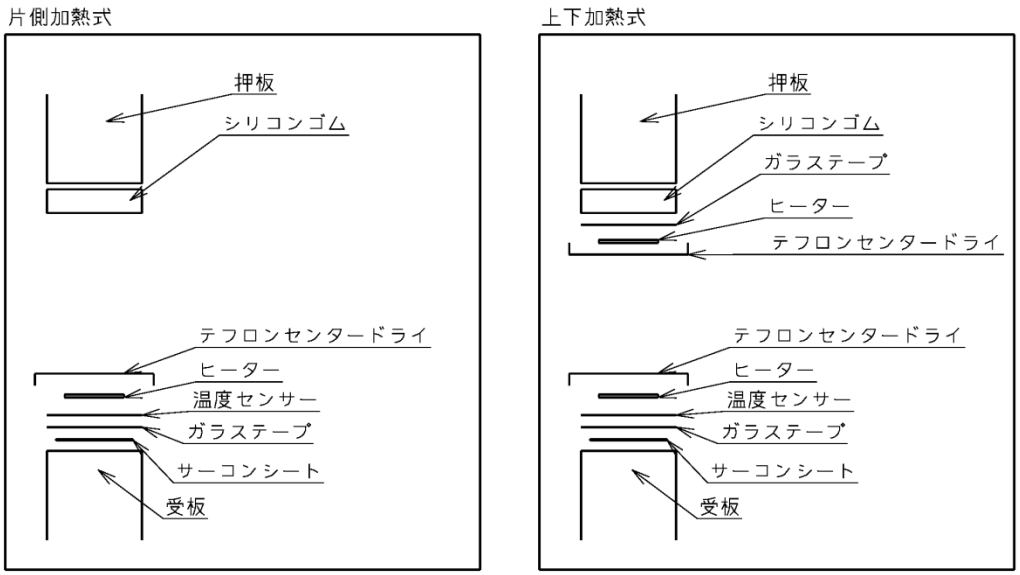
部品交換は必ず弊社指定の部品をご使用ください。装置の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります

必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

シール部の構造

シール部は右図の部品から構成されています。

消耗部品の交換の時は順番を間違えないように正しく取り付けてください



消耗部品の販売単位

消耗部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなってきます。

傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれ適時交換してください。

消耗部品は下記表の発注単位で販売しています。

製品名・品名・数量を明確にご指定の上、製品をお買い上げになられた富士インパルス取扱店へご注文ください。

部品名	販売単位
テフロンセンタードライ	５M 巻　１巻
シリコンゴム	１本
ガラステープ 25mm	５M 巻　１巻
サーコンシート	１セット２本　または５M 巻　１巻
ヒーター（10mm）	１セット 10 本または 20 本
電極	１セット２個
温度センサー	１個

8-1 テフロンセンタードライの交換方法

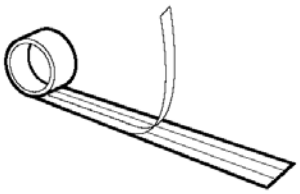
【交換の目安】

テフロンセンタードライが変色し、袋がハガレにくくなった

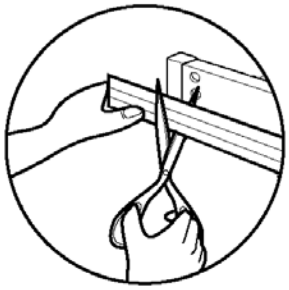
テフロンセンタードライが破れたり、焦げてシールが汚い

【必要な工具】

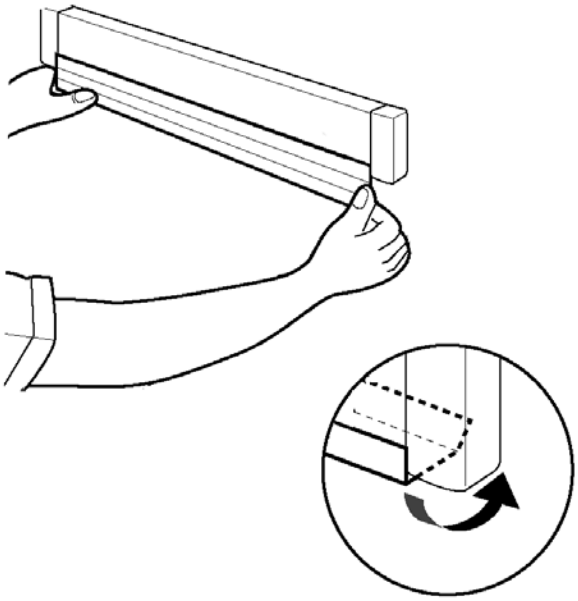
ハサミ



1 シールバーの端からテフロンセンタードライを取り除いてください。



2 新しいテフロンセンタードライをシールバーと同じ長さにハサミで切ってください。



3 新しいテフロンセンタードライをシールバーの端から順に貼っていきます。

4 テフロンセンタードライ中央の粘着のりがない部分がヒーターの下になるように貼り、反対側に折り返して貼り付けてください。

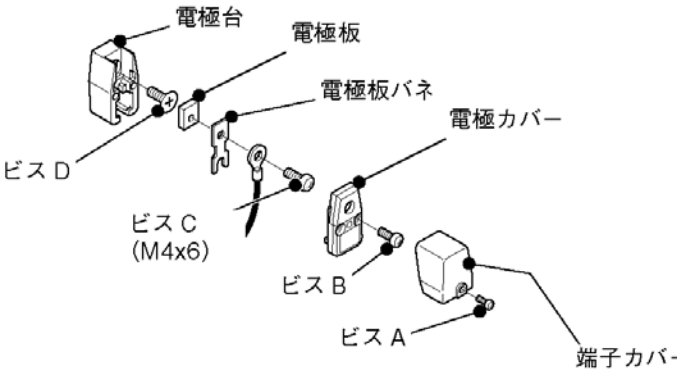
8-2 ヒーターの交換方法

【交換の目安】

ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い等

【必要な工具】 プラスドライバー

ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。



ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバーをはずさないでヒーターを交換できる構造になっています。

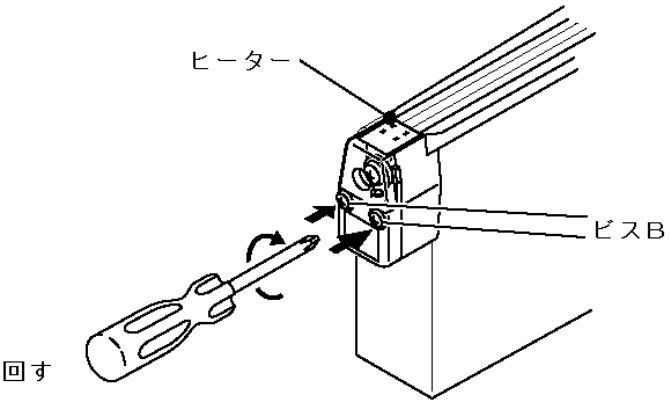
⚠警告 **もし誤って、ビスCを紛失した場合、ビスC(M4x6)より長いビスを代用しないでください。ビスCより長いビスを使用すると電極台を固定しているビスDと接触し、ショートする危険性があります。**

⚠注意 **ヒーター交換時はガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。ガラステープ、サーコンシートが傷んだ状態でヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。**

1 左右双方電極のビスAをプラスドライバーで緩め、端子カバーをはずします。

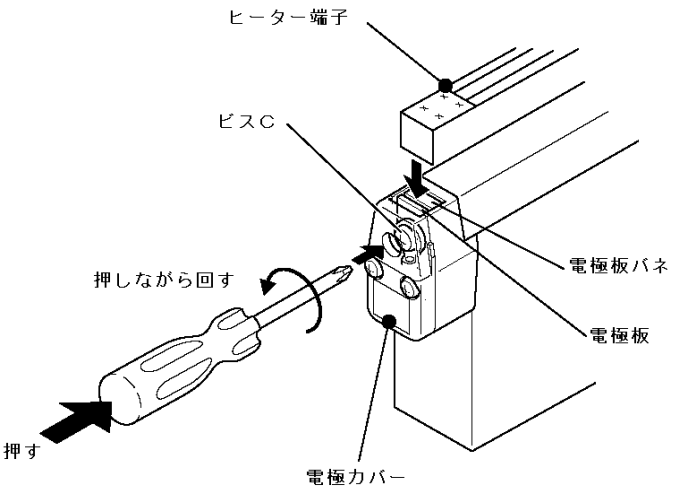
2 テフロンをはずします。(テフロンの交換参照)

3 左右双方電極のビス B を緩めヒーターが左右に張られていない状態にします。(電極カバーをはずす必要はありません)



⚠注意 **ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られ状態になるのでヒーターを取りはずすことができません。**

4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバー を差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。



5 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようヒーター端子を指で押さえながらビス C をプラスドライバーで締め付けます。

6 3で緩めたビスBを確実に締めヒーターが左右に張られた状態にします。(ビスBの締め付けがゆるいとヒーターが左右に張られていない状態のためヒーター損傷の原因になります)

8-3 ガラステープの交換方法

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い

【必要な工具】

ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

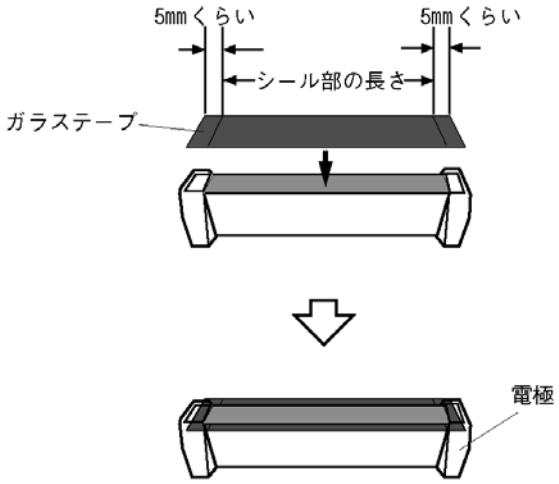
⚠ 注意 **ヒーター下部のガラステープが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。**

1 この取扱説明書をご覧になりテフロン、ヒーターを取りはずしてください。

2 ヒーター下部のガラステープをきれいにはがしてください。

⚠ 注意 **粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）で取り除いてください。**

3 ガラステープの両端が電極に 5mm ずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。



8-4 サーコンシートの交換方法

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い

【必要な工具】

ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

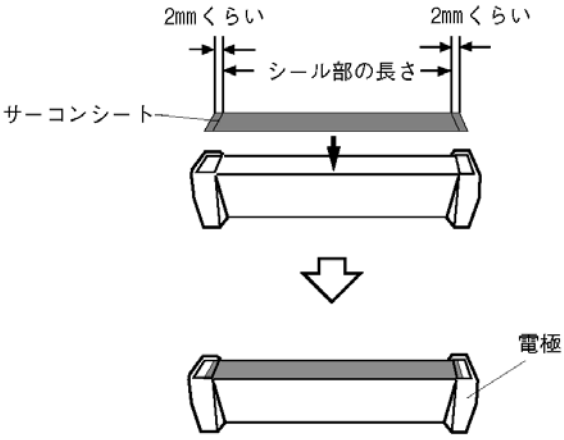
⚠ 注意 **ヒーター下部のサーコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください**

1 この取扱説明書をご覧になりテフロン、ヒーター、ガラステープを取りはずしてください。

2 ヒーター下部のサーコンシートをきれいにはがしてください。

⚠ 注意 **粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）で取り除いてください。**

3 サーコンシートの両端が電極に 2mmずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。



8-5 温度センサーの交換方法

【交換の目安】 温度センサーの破損

【必要な工具】 プラスドライバー

温度センサーは、ヒーターとガラステープの間に挟む位置にセットしてあります。

1 テフロンテープを取り外してください。

2 ヒーターを取りはずします。23 ページ「ヒーターの交換」を参照してください。

3 ビス A-1、ビス A-2、ビス B をはずし、温度センサー固定板をはずして温度センサーを取りはずしてください。

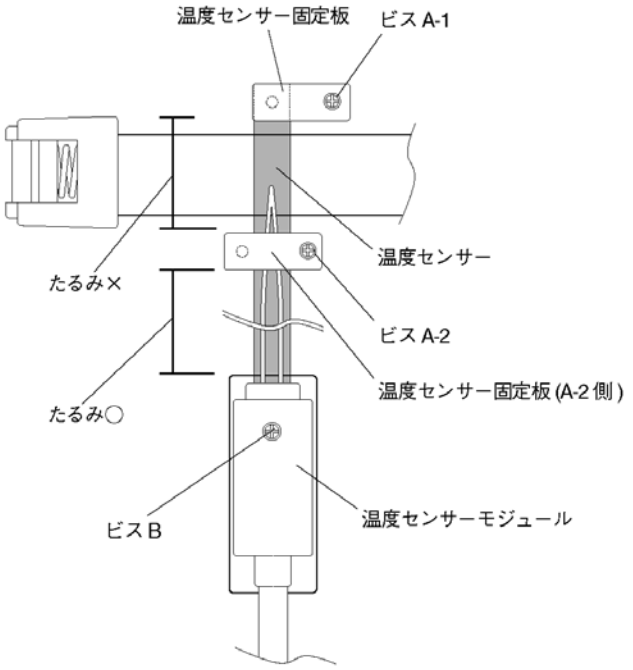
4 温度センサー固定板（ビス A-1 側）の突起部分を温度センサー先端部の穴にはめ込みシールフレームに固定する。

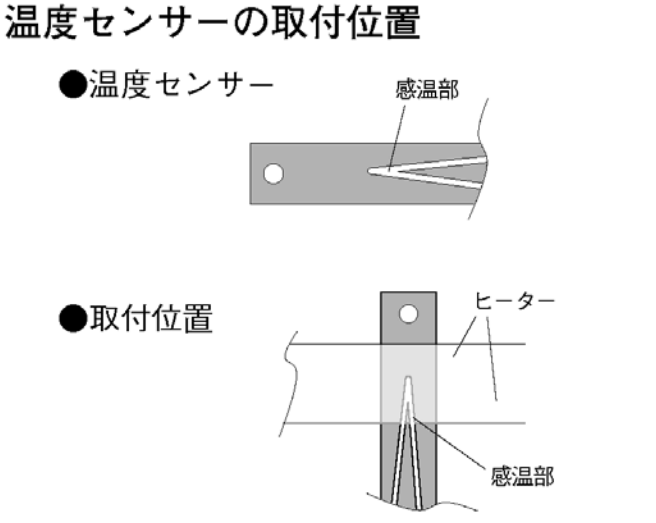
5 温度センサー固定板（ビス A-2 側）で温度センサーを挟み込み仮固定する。（右イラスト参照）

6 温度センサー固定板（A-1 側）と温度センサー固定板(A-2 側)の間はたるまないように温度センサーモジュール側にセンサーを軽くひっぱりながら温度センサー固定板(A-2 側)をしっかりと固定してください。

7 温度センサーモジュールを固定してください。

8 ヒーターを取り付けてください。（23 ページの「ヒーターの交換」参照）





注意 **ビス A-1 からビス A-2 の間はたるまないようにして下さい。**

注意 **温度センサーをひっぱる時、温度センサーモジュールを持って強くひっぱるとセンサー部が切れてしまうことがあります。**

注意 **温度センサーの取付位置を誤りますと、シールができない場合があります。**

取り付ける時、感知部がヒーターの中央にくるように取り付けてください。（イラスト参照）ずれているとヒーター温度を正しく検出することができません。

8-6 シリコンゴムの交換方法

【交換の目安】 シリコンゴムの表面が凸凹になっている

【必要な工具】 アルコール（エタノール）

1 この取扱説明書をご覧になりテフロン、ヒーター、ガラステープを取りはずしてください。

2 シリコンゴムをはがし、粘着のりをアルコール（エタノール）できれいにふきとってください。（粘着しているのりを取らずにシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません）

3 新しいシリコンゴムには、粘着テープがついています。剥離紙を外し、端から順に貼ります。